



佐世保海事事務所 船舶検査官  
平成 28 年度 採用 (船舶系技官)

【略 歴】

平成 28 年 4 月 入省  
平成 28 年 4 月 海上安全環境部 船舶測度官  
平成 30 年 4 月 下関海事事務所 船舶検査官  
令和 02 年 4 月 佐世保海事事務所 船舶検査官

現在の仕事内容

- ・船舶や搭載品（エンジンなど）にかかる図面等の設計検査、現場での立会い検査など
- ・船舶の測度にかかる業務の一部

Q. 九州運輸局を志望した理由は？

公務員試験を受験した時は、専門が電気・通信系だったこともあり、本命は民間企業のシステムや半導体素子などの研究・開発部門への就職を考えていました。

合格発表後、運輸局採用担当の方よりお電話をいただき、それまで見る機会がなかった船舶の中身(構造や設備)や海に沈んでいる部分など「船舶」という乗り物の未知の部分に好奇心が刺激され半ば勢いで志望しました。

各省庁で女性職員の採用を増やそうという試みがなされていたこと、私自身幼少期より乗り物や機械などに興味があったことなどタイミングもよかったのだと思います。

Q. 仕事のやりがいは？

船舶検査、船舶測度ともに、船舶の誕生から引退までを見届けるお仕事です。

ただの鉄の板が何度も打合せや検査(測度)を繰り返し船の形になった時や、役割を終えた船が鉄の塊に戻るまでを見届けた時は達成感と寂寥感を感じます。それに加えて各地に物資や人、時には思い出や笑顔を届ける船の安全を支えているという自負と、見送った船たちの働く姿を見たり実際に乗ったりしたときのワクワクが私にとってのやりがいになっています。

Q. 女性にとって、運輸局は働きやすい職場ですか？

検査の現場では安全確保のため、また、油やペンキ等で汚れやすいこともあり作業着やヘルメットが必須です。現場検査は相当な運動量のため、暑さで汗もかき体力もいる仕事です。最初は戸惑うことも多かったですが、今では体力もつき、作業着やヘルメットも楽に感じています。

女性技官は数が少なく、時には女性職員が事務所で自分だけという時もありますが、先輩職員の方々が気遣いや受入れる体制・雰囲気を作ってくださいるので大きな不安を感じることはありませんでした。  
また、産休・育休制度、復帰後の時短勤務などの制度を活用し活躍されている先輩方も多くいるようです。

## Q. 1日の仕事の流れ

- ～8:30 出勤  
メールのチェックや当日の現場業務の予定をチェック。
- 9:00 現場に向けて出発  
検査のため造船所や工場などの現場へ官用車や自転車・徒歩で移動。
- 12:00 昼休み  
現場から戻り昼食。外食の時は店までの往復がちょっとしたお散歩代わり（港の景色は最高です）。また、仮眠や読書など自由な時間も。  
ただし、現場検査が長引いた場合は、お昼休みに食い込むことも。
- 13:00 事務処理、打合せ対応 or 現場検査業務など  
午前の現場検査の事務処理、造船所や船主の担当者と打合せ。  
午後から検査があるときは再び現場へ。夏の屋外は暑い！
- 15:00 書類作成や課内打合せ  
現場検査や打合せ後の書類を作成しつつ、上司と明日の予定の確認。
- 16:00 翌日の準備 or 図面の審査など  
翌日の検査の準備や新造船などの図面を審査。  
検査についての相談や質問があれば、その対応や検討に時間を充てることも。
- 17:30 退庁

## Q. 就職活動中の皆さんへのメッセージ

まずは合同説明会などで広く情報を集めることをおすすめします。興味を持っていなかった職種でも、思わぬ出会いが待っている可能性が十分あります。

また、やりたい業務を見つけたと思っても、実情とは違うことがあるため確認が必須です。私の場合、ある官署の業務に魅力を感じたが、電気区分だと「システムの維持管理」部署にしか採用枠がなく、将来的にもその業務しか従事できない募集内容だったことがありました。

運輸局でも自動車と船舶で業務内容が違いますので、よく確認してください。そして、ぜひ船舶技官で受験してください。船の雄大な姿と精密な中身とのギャップ、愉快的船員・職員の方々とのお話、どれも新鮮な経験になると思います。